おきなわ

《2026秋・第132号》
発行　浄土真宗本願寺派
沖縄県宗務事務所
発行人　久留島智祐

〒900-0005
沖縄県那覇市天久2-18-2
電話（098）860-7009
ファックス（098）860-7469
mail ameku2182@yahoo.co.jp

「沖縄県宗務特別区についての説明会」、第1回沖縄県宗務推進会議を開催



9月9日（水）午後6時から沖縄別院にて「沖縄県宗務特別区についての説明会」を開催し、特区内の12か寺が参加されました。

2005（平成17）年12月1日に「沖縄県宗務推進特別措置規程」が施行。沖縄県開教地（国内開教地指定）から、沖縄県宗務特別区（以下、「特区」）として設定され、20年が経過しました。この間には、新たに寺院を設立されたご住職、継職されたご住職、特区内で活動する衆徒及び寺族も増えました。

説明会は、教区・組とは異なる状況にある「特区」について互いに共通認識を深めるとともに、将来を見据えたより良い特区となるために開催しました。

講師として吉川孝介統括所長（鹿児島教区教務所長・本願寺鹿児島別院輪番）に説明いただき、笠置信行宗会議員（鹿児島・沖縄選挙区）、桂正道 部長（統合企画室）、三明大慶部長（寺院活動支援部）、幸一誠 副輪番（鹿児島教区教務所・本願寺鹿児島別院）に同席いただきました（桂部長、三明部長はオンライン）。

説明では「沖縄県宗務特別区の変遷と現状について」と題して、スクリーンにパワーポイントを映し、多岐にわたり、かつ丁寧にお話しいただき、相互に「特区」の現状について共通認識が深まりました。

引き続き、午後7時30分から「2026（令和8）年度第1回沖縄県宗務推進会議」を開きました。久留島智祐 宗務事務所長・高木正敏 推進会議会長の挨拶の後、事務局から沖縄県宗務推進会議委員就退任について報告。協議事項では、事務局から沖縄県宗務推進会議委員の職務輪架裟・門徒式章制定について総局に要望書を提出したい旨の提案を行い、賛同されました。

次に、事務局より財務承認議案5件の説明を行い、全会一致で全議案が承認されました。

最後に、笠置信行参与から第326回定期宗会について報告いただき、左記事務連絡をし、閉会しました。

（1）住職総参拝について

（2）沖縄特区連研のための研究会開催について

（3）「沖縄開教記念誌」制作に伴う資料の提供依頼について

第25回全国仏教壮年岐阜大会

9月5日（土）に「第25回全国仏教壮年岐阜大会」が開催され、沖縄特区からは9月4日（金）～5日（土）の日程で3名の有志が参加されました。

前日4日（金）の夜には岐阜市内のホテルでレセプションが開かれ、約150人が参加。全国の朋友と近況を語り合いました。

大会当日朝、会場である岐阜市文化センターの催し広場に岐阜教区会員の皆さんが集まり、笑顔で全国の仲間を迎えられました。参加者は1300人にのぼりました。

大会テーマは「報恩謝徳」。大会趣旨には「『報恩謝徳』は、『恩徳に対して感謝し、その恩に報いようとする心』を表しています。親鸞聖人のみ教えをお伝えいただいた多くの方々に私たちが感謝し、次の世代へと受け継ぐ行動が大切（後略）」とあります。開会式には各教区・特区の連盟旗の入場があり、大会に花を添えました。沖縄特区は仁富和嘉理事長（平成寺門徒）に旗手を務めていただきました。

ご門主様によるご焼香・お言葉を頂戴し、結成40年以上の会の表彰と続きました。

記念法話は義本弘導師（大阪教区交野組浄行寺）。阿弥陀さまのお慈悲の救いについてユーモアを交えてお話しされました。

アトラクションとして「かやの木芸術舞踊学園」のダンスを観賞、Mr.マリックさんの超魔術では参加者全員でスプーン曲げに挑戦（多数の方のスプーンが曲がりました！）、と楽しい時を過ごしました。

閉会式では、次回大会主幹の兵庫教区から挨拶があり、3年後の再会を約束し、全国の朋友とのご縁に感謝しつつ、帰沖しました。





→特区は仁理事長が旗手として堂々の入場

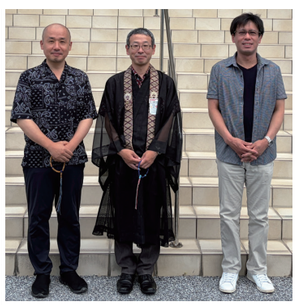
↑開会式の様子

ハイサイ!! 沖縄へようこそ

7月31日（金）に大阪教区河中南組恵光寺の皆さんが、9月1日（火）に福岡教区粕屋組の皆さんが沖縄別院に参拝されました。

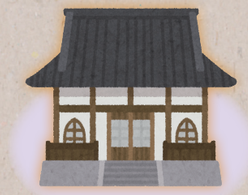
沖縄別院では今後も皆様のご参拝をお待ちしております。





↑大阪教区河中南組恵光寺の皆さん

←福岡教区粕屋組の皆さん



報恩講 de お寺にお参りをしてみませんか？



浄土真宗で一年のうち最も大切な法要が報恩講です。「報恩」とは「ご恩に報いる」という意味です。宗祖親鸞聖人がお念仏の教えを私たちに伝えてくださったご恩を喜び、その教えをあらためて聞かせていただく法要として報恩講をお勤めします。

報恩講では、お勤めや法話を通して教えに触れ、自分の人生を見つめるひとときをいただきます。

「お寺の法要は難しそう」などと思わず、どうぞお気軽にお参りください。初めての方も大歓迎です。静かに手を合わせ、お念仏の声に耳を傾け、ゆったりとした時間を過ごしてみませんか。

沖縄県内には浄土真宗本願寺派のお寺がいくつもあり、それぞれの日程で報恩講をします。ぜひお近くのお寺にお参りいただき、親鸞聖人の教えに出遇う良いときをお過ごしください。

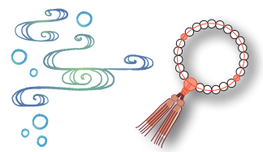
皆さまのお参りを心よりお待ちしています。

沖縄別院の報恩講

沖縄別院（浦添本願寺） 本堂	沖縄別院 久米島布教所 本堂
2027（令和9）年1月24日（日）午前10時	2026（令和8）年11月15日（日）午前10時
講師 松崎智海師（北豊教区小倉組永明寺住職）	講師 別院職員
〒901-2132 浦添市伊祖5-10-1 TEL （098）877-3276	〒901-3124 島尻郡久米島町仲泊1068-3 TEL （098）985-2271

浄土真宗本願寺派 各寺院の報恩講

平成寺 本堂	真常寺 本堂
2026（令和8）年11月15日（日）午前10時半	2026（令和8）年11月29日（日）午前10時
〒901-0311 糸満市字武富603-12 TEL （098）992-0696	〒904-0313 中頭郡読谷村字大湾464 TEL （098）956-2182
誓願寺 本堂	**法谷寺 本堂**
2026（令和8）年11月22日（日）午前10時	2027（令和9）年2月13日（土）午後6時
〒907-0022 石垣市字大川821 TEL （0980）83-2279	〒904-0202 中頭郡嘉手納町字屋良747-1 TEL （098）956-0820



どうぞご家族そろってご参拝ください。
皆さまとともにご縁をよろこび合い
仏さまのご恩に感謝の一日を過ごしましょう。

※報恩講の詳細については、各寺院にお問い合わせください。

キッズサンガ 8年ぶりの開催

8月20日（木）、「第6回沖縄特区キッズサンガのつどい」を開催しました。キッズサンガとは、お寺は法事や葬儀だけをする場ではなく皆の居場所であることを子どもたちに知ってもらい、阿弥陀さまとのご縁をつくることを目的とした活動です。





バルーンアートに挑戦中

↑好きな色をえらんでお念珠を作りました

以前は隔年開催でしたが、新型コロナウイルスで中断して以来、8年ぶりの開催となりました。

今回は読谷村の真常寺様に協力いただき、真常寺読谷サロンを会場に開催しました。特区内寺院から24名の参加がありました。

午前10時に開式。皆で一緒に仏さまに手を合わせました。はじめに腕輪念珠作りをしました。小さな玉に紐を通し結ぶのは難しく、子どもたちは苦労しながらも楽しんで作っていました。「できた腕輪念珠は、これから手を合わせるときに使ってね」と職員が話しました。

次はバルーンアートです。子どもたちは初めて触るバルーンにビクビクしていましたが、簡単には割れないとわかると、楽しそうにねじって、形づくりしていました。

昼食にはサロンからカレーライスを提供いただきました。ウインナーやゆで卵など多くのトッピングまでご用意いただき、おいしくいただきました。



真常寺読谷サロンご提供の特製カレーを豊富なトッピングとともにいただきました

午後のビンゴ大会では、参加者の高校生も協力してくれました。

景品と一緒に配ったお菓子には、こざくら餅や練り飴など今の子どもたちには珍しい駄菓子もあり、皆、大喜びでした。

今回は多くの方々の協力で盛会のうちに終了できました。2年後、夏の思い出にぜひご参加ください。